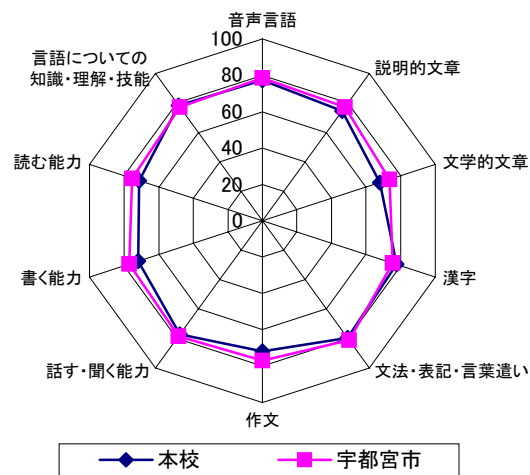


宇都宮市立旭中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	77.2	78.5
	説明的文章	74.6	77.2
	文学的文章	67.9	73.4
	漢字	77.7	75.3
	文法・表記・言葉遣い	79.6	81.1
	作文	71.8	76.9
観点別	話す・聞く能力	77.2	78.5
	書く能力	71.8	76.9
	読む能力	71.3	75.3
	言語についての知識・理解・技能	78.3	77.3



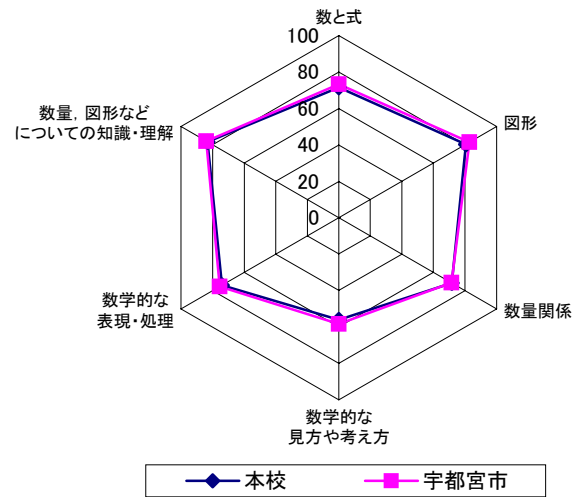
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (77.2%)	・「話の趣旨の聞き取り」では、宇都宮市と比べ1.5ポイント上回っていた。しかし、「事実と意見の聞き分け」では、市の平均正答率より4.9ポイント下回っていた。全体として1.3ポイント下回っていた。	・授業の中で「聞き取りテスト」を取り入れて、聞くことに慣れさせていく。 ・話し合いや討論、スピーチの活動の中で、聞き取りメモをとりながら、話の趣旨をとらえられるようにしていく。
説明的文章 (74.6%)	・「文脈に即した内容の理解」では、宇都宮市と比べ、5.1ポイント下回った。また、「文章の構成や展開」では、市の平均正答率を3.5ポイント下回ってしまった。全体として2.6ポイント下回っている。	・文章の要旨をとらえることができていないので、文章よりも小さい単位である段落ごとに要旨をまとめる練習をしていく。 ・接続語の働きに注意しながら筆者の論理の展開を捕らえさせるように指導していく。
文学的文章 (67.9%)	・「登場人物の心情」では、宇都宮市と比べて、9.4ポイント下回った。また、「登場人物の動作の理由」では、市の平均正答率より4.9ポイント下回ってしまった。全体として5.5ポイント下回った。	・登場人物の行動・動作をおさえながら、登場人物の心情や人物像をとらえていけるようにする。
漢字 (77.7%)	・中学2年の漢字「状況」は書けていたが、中学1年の漢字「吹く」の書き取りができなかった。全体的には、宇都宮市の平均正答率と比べ、2.4ポイント上回った。	・授業時間の最初に実施している小テストを、テストだけでなく練習することに重点を置いて、繰り返して身につけられるようにする。 ・新出漢字を使った短文作りをやりながら、実践的な漢字を身につけさせていく。
文法・表記・言葉遣い (79.6%)	・「動詞の活用形」と「類義語」は良くできていたが、「方言と共通語」の理解が足りなかった。全体的にも、宇都宮市の平均正答率と比べ、3.5ポイント下回っていた。	・動詞の活用は授業で繰り返し学習し、類義語もプリントで学習したのでよく理解していた。 ・方言と共通語の違いや特徴についてもう一度確かめていけるようにする。
作文 (71.8%)	・「副詞の呼応」(もし～たら)を使う作文は宇都宮市と比べ、1.3ポイント上回っていた。しかし、「故事成語」(推敲)を使う作文は、市の平均正答率と比べ、15.0ポイント下回ってしまった。全体的には、書かずにあきらめてしまう「無回答」が多く1.0ポイント下回った。	・「副詞の呼応」を使う作文はしっかりかけていた。故事成語を使う作文の練習をやきらめずに最後まで書く指導をしていく。

宇都宮市立旭中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	71.6	73.3
	図形	80.5	82.8
	数量関係	71.7	71.3
観点別	数学的な見方や考え方	56.1	58.4
	数学的な表現・処理	74.1	75.3
	数量、図形などについての知識・理解	83.2	83.9



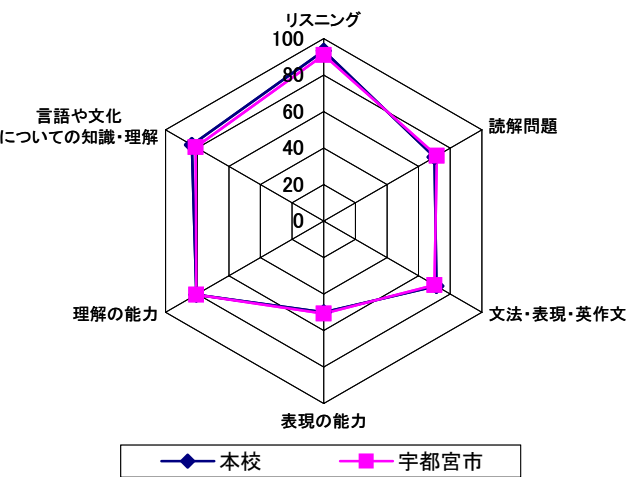
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (71.6%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を1.7ポイント下回っている。特に、比の性質において、正答率の落ち込みが大きく、今後の指導が必要である。 ・多項式の計算や連立方程式においては、正答率が90%を超える問題もあるなど、概ね理解している生徒が多い。	・比の性質については、再度確認し繰り返し練習させていく。また、計算問題についても、授業の中で出来る限り復習の時間を確保しながら、新たな学習内容に繋げる。
図形 (80.5%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を2.3ポイント下回っている。特に、三角形の合同やその証明において、正答率の落ち込みが大きかったが、それ以外の部分に関しては正答率が80%を超え、概ね理解している生徒が多い。	・三角形の合同の証明においては、容易に記述できる方法を考え、穴埋め形式にするなど取り組みやすいように工夫していく。
数量関係 (71.7%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を0.4ポイント上回っている。1次関数の問題で市を4～7ポイント程度上回る問題もある。しかし、1次関数の利用においては、市を2～5ポイント下回り今後の指導が必要であると思われる。	・1次関数では、1年生のときと同じように、表、式、グラフが頭の中でつながるような指導が必要になる。ともなうて変わる2つの数量の間の関係を規則性として捉え、様々な場合について活用できる応用力を身につけられるよう指導していく。

宇都宮市立旭中学校第2学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	93.4	91.1
	読解問題	70.1	71.5
	文法・表現・英作文	71.3	70.0
観点別	表現の能力	50.0	50.6
	理解の能力	80.7	80.4
	言語や文化についての知識・理解	83.4	81.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (93.4%)	・昨年とは、問題が異なるため比較はできないが、本年度は宇都宮市の状況と比べると2, 3ポイント上回っている。	・普段の授業の中で、オーラルイントロダクションやALTやCDをしっかりと聞くような指導を継続して行っていく。また、「話すこと、聞くこと」に生徒が取り組む時間を確保していく。
読解問題 (70.1%)	・昨年とは、問題が異なるため比較はできないが、本年度は宇都宮市の状況と比べると1, 4ポイント下回っている。	・言語の知識・理解はあるので、長文に接する機会をできるだけ取り入れていく。また、内容は生徒の興味関心のあるもので、平易なものから難易度の高いものに少しずつ、レベルアップをさせていく。
文法・表現・英作文 (71.3%)	・昨年とは、問題が異なるため比較はできないが、本年度は宇都宮市の状況と比べると1, 3ポイント上回っている。	・表現の能力をより一層向上させるために、スパイラル方式を意識して、基本文を用いての自己表現をするようにしていく。